

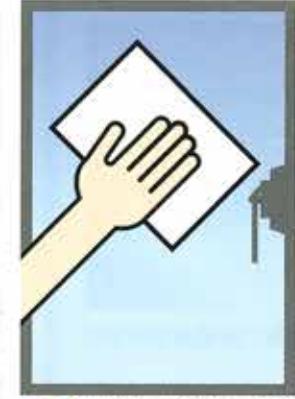
泥棒は、窓の中心付近のガラスを割り、クレセント錠を開けて侵入してきます。防犯フィルムを貼り、侵入を防止しましょう。

取付簡単

※熱線反射ガラス、熱線吸収ガラス、銀入りガラス、二重ガラス、有機ガラス、など特殊なガラスは割れる恐れがあるため使用しないで下さい。

取付方法

1 貼り付け面(室内側)をキレイにします。



2 防犯フィルムを貼り付け面に貼ります。



詳しい貼り方は、ウラ面(内側)をご覧下さい。

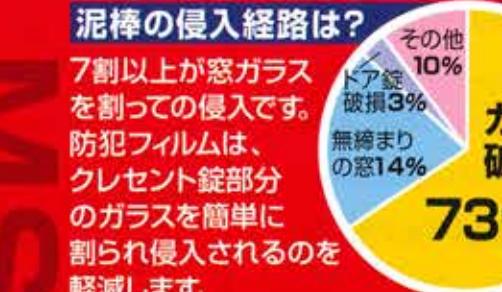
ハードコート処理済
ふき掃除による細かなキズがつきにくくなっています。



名 称 防犯フィルム
材 質 ポリエチルフィルム



泥棒の侵入経路は? 7割以上が窓ガラスを割っての侵入です。 防犯フィルムは、クレセント錠部分のガラスを簡単に割られ侵入されるのを軽減します。



40×50cm 無色 透明 2枚入

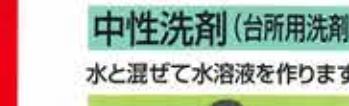


ガラス 破り 防止

フィルム厚さ 188ミクロン

防犯フィルム 窓からの侵入を防ぎ、ご家庭安心!

ゴムのヘラ、防犯シール付



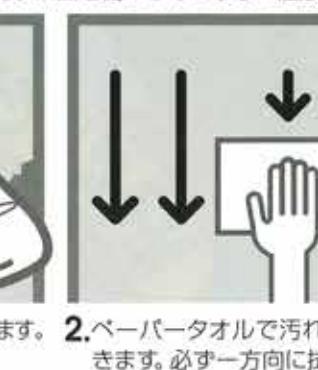
フィルムの貼り方 フィルムは必ず室内側に貼ってください。

1 水溶液を作ります。2 貼り付け面(室内側)をキレイにします。

防水と汚れ防止のために、床にシートや新聞紙などを敷いてから、作業を始めましょう。



1. ガラス面に水溶液を吹き付けます。

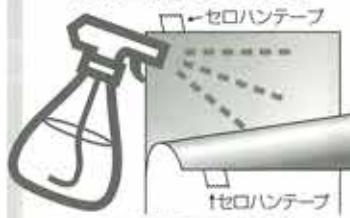


2. ペーパータオルで汚れを取り除きます。



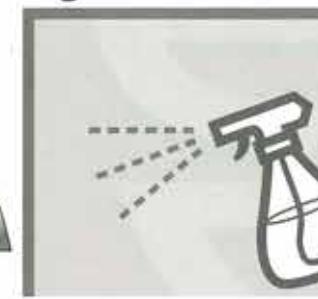
3. はがれの原因になりますので窓枠の際もキレイにします。(往復はしない)。

3 保護フィルムをはがし、水溶液を吹き付けます。

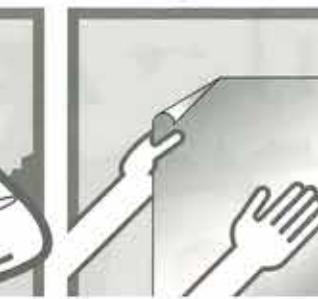


フィルムの裏表両面にセロハンテープを互いにくっつかないように貼り合わせ、そのままセロハンテープを外側に向かって引っ張ってください。

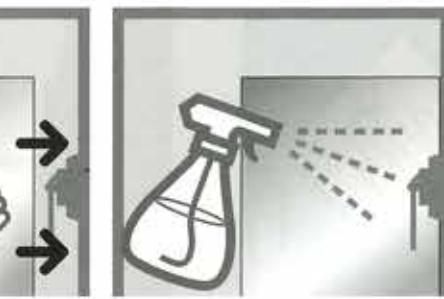
4 ガラスに貼り付けます。(注)必ずノリの付いたフィルム(厚い)をお間違いなく御使用下さい。



1. 再びガラス面に水溶液をまんべんなくたっぷりと吹き付けます。



2. フィルムを合わせながら貼り付けます。鍵受け部分は横からすべりこませるようにします。



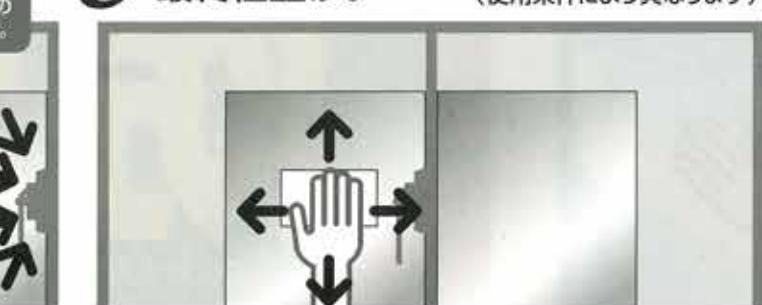
3. フィルム表面に水溶液を吹き付けます。

5 仕上げ。



フィルムを軽く押さえながら、付属のヘラを使ってガラス面とフィルムの間の水を押し出しながら圧着します。必ずヘラを中央から上下の端に向かって少しづつ動かしてください。圧着は、多少力を入れて数回圧着してください。圧力によって粘着力が高まる特殊な接着剤を使用しています。

6 最終仕上げ。



※防犯フィルム耐用年数・約3年
(使用条件により異なります)

★フィルムに巻きグセの付いている場合は、逆巻きにしてクセを直してから御使用下さい。ハガレの原因になります。

防犯シールについて

付属の防犯シールは、貼り付けたフィルム以外のガラス面で室外から目立ちやすい場所に室内側より貼り付けてください。侵入盗への抑止効果をアップさせます。

貼り付け後のメンテナンス

※水溶液が乾燥するまでは手を触れないでください。乾燥するまではフィルムが白っぽく見える場合がありますが、乾燥すれば消えますのでご安心ください。(乾燥に必要な日数 春・夏=約2週間 秋・冬=約3週間)。

※ガラス面の通常の汚れは柔らかい布で拭き取れます。落ちにくい汚れが付いてしまったら、中性洗剤をお使いください。

アンモニア系、塩素系、有機系洗剤は使用しないでください。研磨剤や洗浄ブラシはフィルムを傷つけますので使用しないでください。

貼り替え時のはがし方

フィルムをドライヤーなどで暖めながら、一方向にカッターで5~10cm間隔のスジを入れてフィルムをはがします。接着剤がガラスに残った場合は、水溶液を吹き付けて5分程度放置し、ヘラで取り除きます。

ご注意

- フィルムは必ず室内側に貼ってください。
- 型板ガラス、すりガラスなど表面に凸凹があるガラスには貼られません。透明ガラス専用です。
- キズ、ヒビのあるガラスには絶対に貼らないでください。
- 浴室など湿度の高い場所に貼るとはがれてくる場合がありますので、お避けください。
- フィルムを圧着する際、押し出された水が薄い黄色に見える場合がありますが、安全性や性能に問題はありません。
- フィルムの端で手を切らないよう十分注意してください。
- フィルム表面にステッカーやシールを貼ったりマジックなどで書いたりしないでください。
- 本商品は全ての侵入手段(不正・不法侵入)に対応する商品ではありません。
- 本製品は盜難・災害・事故などを防止するものではありません。万一、発生した盜難・災害・事故などによる損害について責任を負いかねますので、ご了承ください。